

日本災害情報学会 第27回学会大会

予稿集

Proceedings of the 27th Conference

Japan Society for Disaster Information Studies

福島学院大学／コラッセふくしま

Fukushima College/ Corasse Fukushima

2023. 10. 27 (Fri) - 29 (Sun)

日本災害情報学会第27回学会大会 大会プログラム



令和5(2023)年10月27(金)~29日(日)
会場：福島学院大学福島駅前キャンパス/コラッセふくしま

◎10月27日(金) エクスカーション(事前申込者限定)

◎10月28日(土) 福島学院大学福島駅前キャンパス2階・6階

09:30	受付開始	[1階ロビー]
10:00-11:10	口頭発表(セッション1)	[A・B・C会場]
11:25-12:35	口頭発表(セッション2)	[A・B・C会場]
13:40-14:50	口頭発表(セッション3)	[A・B・C会場]
15:05-16:15	口頭発表(セッション4)	[A・B・C会場]
16:30-17:30	廣井賞授賞式	[A・B・C会場]
18:30-20:00	意見交換会(交流会)	[エルティ]

◎10月29日(日) コラッセふくしま4階・5階

09:30	受付開始	[4階ホワイエ]
10:00-11:10	口頭発表(セッション5)	[D・E・F会場]
11:25-12:35	口頭発表(セッション6)	[D・E・F会場]
13:40-15:00	公開記念講演	[D会場]

【参加方法・参加費など】

	正会員(名誉会員・賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
大会参加費	4,000円	2,000円	8,000円	4,000円

	社会人(社会人学生含む)	学生
意見交換会(交流会)参加費	6,000円	3,000円

- 学会大会ならびに意見交換会(交流会)に参加をご希望される方は、以下のURL(STORES)から参加チケットを購入してください。(どちらも参加される方は、「入場チケット」と「意見交換会参加チケット」の2つをご購入ください)
- <https://kst123.stores.jp/>
- 購入後、登録したメールアドレスにチケット(PDF)が届きます。
- 学会大会ならびに意見交換会(交流会)に参加される方は、受付でチケットの提示をお願いします。
- 予稿集(PDFのみ)のURLもチケットに記載されています。
- 現地での参加費の支払いはご遠慮ください。
- 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。

【大会会場案内（アクセスマップ）】

※会場が2日間で異なります！！

10月28日（土）の会場：福島学院大学福島駅前キャンパス 2階・6階

〒960-8505 福島市本町2-10（JR福島駅東口より徒歩約5分）

案内図（詳細）

コラッセふくしま

駅の東西自由通路で西口へ（地下）

エルティ

西口

東口

福島学院大学駅前キャンパス

西口の目印は居酒屋「新時代」の看板

福島市観光案内所
（西口）☎024-531-6428

ふくしまリニアプラザセンター
☎024-531-6428
（福島市観光案内所内、JR福島駅西口）

福島市の観光WEBメディア
福島市観光サイト
https://www.fukushima-tourism.jp/

- Eduroam 等会場のネットワーク回線はありません

●会場案内図（福島学院大学 1階）



●会場案内図（福島学院大学 2階）



●会場案内図（福島学院大学 6階）



10月28日(土)の意見交換会(交流会)会場:エルティ

〒960-8055 福島県福島市野田町1丁目10-41

案内図(簡易)



- ・福島駅東口～福島学院大学駅前キャンパス: 500m (徒歩7分)
- ・福島学院大学駅前キャンパス～エルティ: 1.6 km (徒歩20分)

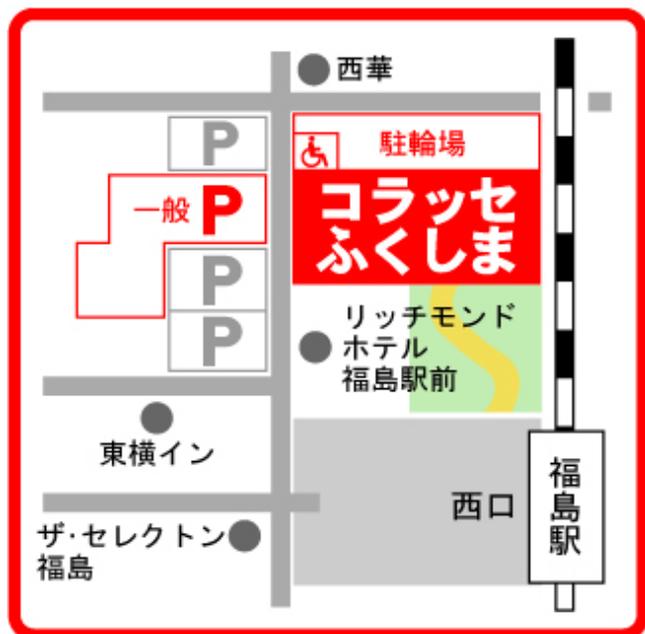
案内図(詳細)



西口の目印は居酒屋「新時代」の看板

福島学院大学駅前キャンパス

10月29日(日)の会場コラッセふくしま(4階・5階)



〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20

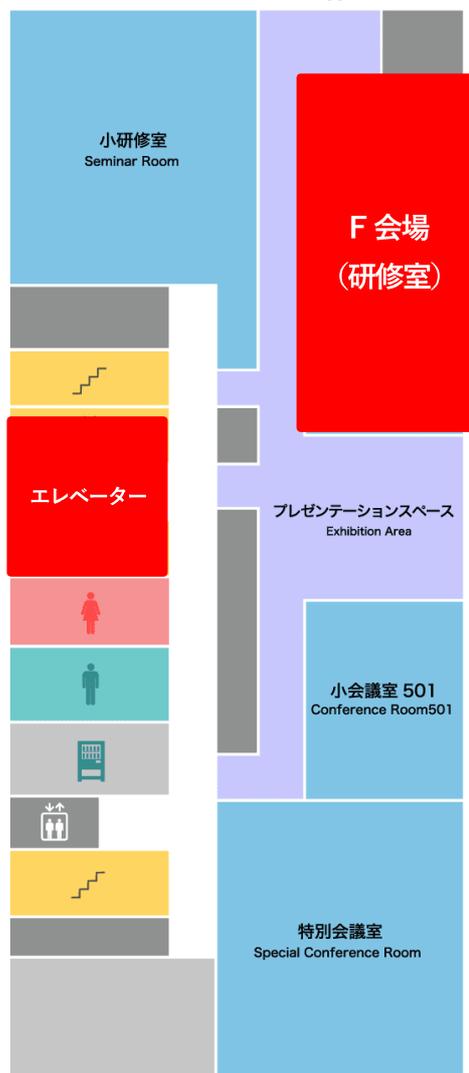
(JR福島駅(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)西口より徒歩3分)

※会場にフリーのアクセスポイントがあります

●会場案内図(コラッセふくしま 4階)



(コラッセふくしま 5階)



【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- 本大会では、2日間で使用会場が変わります。かならず地図を確認の上、参加をお願いいたします。
- チケットの購入は必ず事前に行ってください。
- オンラインでの中継はありません。
- 学会大会で使用する（指定された）会場以外の会議室等には、絶対に入室しないでください
- 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようお願いいたします。
- 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、大会実行委員会では一切の責任を負えません。

【口頭発表される方全員に対する諸注意】

- 発表で使用するPCやコネクタ（会場ではHDMI端子利用可）等は各自でご用意ください。実行委員会では機材貸出・技術的サポートの用意はありません。
- 発表1件につき、10分発表+5分質疑です。各セッションの最後に10分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせします。
 - 8分 1鈴
 - 10分 2鈴（発表終了）
 - 15分 3鈴（質疑応答終了）
- 動画を流す場合は、なるべくパワーポイントに埋め込む形にしてください。
- 優れた口頭発表には、大会委員会による「優秀発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40歳以下）が対象）。なお、過去に阿部賞／河田賞／若手研究発表会・若手発表奨励賞（2021年4月開催）／学会大会優秀発表賞を受賞した方は対象外となります。
- なお、発表を辞退する場合も、学会大会実行委員会・研究発表担当まで必ずご連絡ください。

お困りの際は、以下まで連絡をください。

学会大会実行委員会・研究発表担当（東京大学 安本真也） jasdis.taikai@gmail.com

● タクシーを利用される方は下記も併せてご利用ください

- ・ 福島貸切辰巳屋自動車株式会社 0245-23-3241
- ・ 大和自動車交通株式会社 0245-34-6181
- ・ 株式会社北福島タクシー 0245-57-2210

●発表スケジュール（簡易版）

日本災害情報学会第27回学会大会プログラム

1日目（10月27日 ※事前申込制）

エクスカーション	東京電力福島第一原子力発電所ほか
----------	------------------

2日目（10月28日 9：30受付開始 受付：福島学院大学福島駅前キャンパス 1階）

	2階E217 口頭発表 A会場	6階E608 口頭発表 B会場	6階E609 口頭発表 C会場
セッション1 10:00-11:10	東日本大震災、原子力災害Ⅰ 座長：越山 健治	システム 座長：中村 功	調査Ⅰ 座長：福島 隆史
セッション2 11:25-12:35	東日本大震災、原子力災害Ⅱ 座長：開沼 博	災害支援Ⅰ 座長：杉山 高志	地震・火山 座長：小室 広佐子
セッション3 13:40-14:50	東日本大震災、原子力災害Ⅲ 座長：佐藤 翔輔	災害支援Ⅱ 座長：磯打 千雅子	水害Ⅰ 座長：黒田 洋司
セッション4 15:05-16:15	歴史・理論 座長：及川 康	災害支援Ⅲ 座長：大津山 堅介	防災教育Ⅰ 座長：岡田 夏美
廣井賞授与式 16:30-17:30	廣井賞授与式		
意見交換会 （交流会） 18:30-	エルティ福島（福島学院大学福島駅前キャンパスから徒歩20分程度）		

3日目（10月29日 9：30受付開始 受付：コラッセふくしま4階ホワイエ）

	4階多目的ホール 口頭発表 D会場	4階中会議室 口頭発表 E会場	5階研修室 口頭発表 F会場
セッション5 10:00-11:10	南海トラフ・想定 座長：高原 耕平	調査Ⅱ 座長：秦 康範	災害支援Ⅳ 座長：本間 基寛
セッション6 11:25-12:35	水害Ⅱ 座長：大原 美保	メディア、コミュニケーション 座長：廣井 悠	防災教育Ⅱ 座長：中野 元太
公開記念講演 13:40-15:00	片田 敏孝 会長 （タイトル未定）		

目 次

■■ A会場 福島学院大学福島駅前キャンパス 2階E217 ■■

10月28日(土) 10:00~11:10 セッション1

A1 東日本大震災、原子力災害Ⅰ (座長: 越山 健治)

- A1-1 中国における処理水放出反対言説の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
丁 可 (東京大学大学院学際情報学府)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A1-2 原子力災害避難時における甲状腺被ばく線量モニタリングの実現性の検討・・・・・・・・・・4
弓削 湧輔 (福井大学工学研究科)
中尾 虹海 (福井大学工学研究科)
吉田佳乃子 (福井大学工学研究科)
安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所)
- A1-3 東日本大震災集中復興期間における宮城県産米に対する風評実態の検討: ツイートに注目して・・・・6
岡野悠太郎 (東北大学大学院情報科学研究科)
河村 和徳 (東北大学大学院情報科学研究科)
- A1-4 住民自治組織の形成過程と「祭」再興の関係性~双葉郡浪江町の事例に着目して~・・・・8
葛西 優香 (東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院学際情報学府)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

10月28日(土) 11:25~12:35 セッション2

A2 東日本大震災、原子力災害Ⅱ (座長: 開沼 博)

- A2-1 福島復興を再考する: 双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店事業者の語りから・・・・11
吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学部研究科群)
根本 豪己 (東京大学 教養学部理科一類)
山田 拓実 (東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A2-2 福島県の広域避難者に届けられた情報媒体の内容分析—地元紙のダイジェスト版を対象として—
・・13
静間 健人 (東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A2-3 東京電力福島第一原子力発電所事故後における原子力防災対策の課題抽出と調査・・・・15
中尾 虹海 (福井大学工学研究科)
田代 研 (福井大学工学研究科)
安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所)
- A2-4 『朝日新聞』の署名記事からみる福島第一原発事故報道・・・・17
矢内真理子 (同志社大学 人文科学研究科 嘱託研究員 (社外))

10月28日(土) 13:40~14:50 セッション3

A3 東日本大震災、原子力災害Ⅲ (座長: 佐藤 翔輔)

- A3-1 福島第一原発事故後の避難自治体における復興過程 20
橘 清司 (東京大学大学院学際情報学府/地方公共団体金融機構経営企画部)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A3-2 被災地復興のステップを考慮した特定復興再生拠点区域における住宅の比較分析 22
三浦 瑞貴 (東京大学大学院学際情報学府)
葛西 優香 (東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院学際情報学府)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A3-3 原子力災害時における住民放射線防護の意思決定を支援する時空間解析による
空間線量率異常値検出手法 24
吉田佳乃子 (福井大学工学研究科総合創成工学専攻)
安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所)
- A3-4 ALPS 処理水放出をめぐる中国の SNS における世論の一調査 26
—微博と知乎におけるネット世論に着目して—
ト 新哲 (東京大学大学院学際情報学府)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環)

10月28日(土) 15:05~16:15 セッション4

A4 歴史・理論 (座長: 及川 康)

- A4-1 「測りすぎ」からの解放 29
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- A4-2 伊勢湾台風による名古屋市内の長期湛水地 2 地区の状況 31
荒木 裕子 (京都府立大学生命環境科学研究科)
倉田 和己 (東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター/株式会社ファルコン)
田代 喬 (東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター)
- A4-3 伊勢湾台風により決壊した堤防の応急復旧に関する考察 33
田代 喬 (東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター)
倉田 和己 (東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター/株式会社ファルコン)
荒木 裕子 (京都府立大学生命環境科学研究科)
- A4-4 防災の責任の所在に関するコミュニケーション 35
及川 康 (東洋大学理工学部)

■■■B会場 福島学院大学福島駅前キャンパス 6階E608■■■

10月28日(土) 10:00~11:10 セッション1

B1 システム(座長:中村 功)

- B1-1 水害避難におけるリアルタイム避難時刻割当の効果の測定手法に関する考察 38
南 貴久(東京大学生産技術研究所)
加藤 孝明(東京大学生産技術研究所)
杉山 高志(九州大学大学院人間環境学研究院)
- B1-2 被災状況共有のための高信頼性市民データによる参加型情報共有システム 40
本間 有貴(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
西野 瑛彦(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
神武 直彦(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
- B1-3 通信SIM内蔵型IP災害告知端末の開発 42
増田 和順(株式会社クレバーラクーン)
川瀬 勉(特定非営利活動法人日本災害医療支援機構)
- B1-4 スマートフォンは同報無線を代替するのか-携帯電話網利用防災システムの導入事例をもとに-
. 44
中村 功(東洋大学社会学部)

10月28日(土) 11:25~12:35 セッション2

B2 災害支援I(座長:杉山 高志)

- B2-1 地震対策促進のための仮想現実および拡張現実を用いた体験型学習アプリケーション開発の試み
. 47
野元 颯馬(関西大学大学院社会安全研究科)
土田 昭司(関西大学社会安全学部)
河野 和宏(関西大学社会安全学部)
Chayanee WONGSURIYANAN(関西大学大学院社会安全研究科)
浦山 郁(関西大学大学院社会安全研究科)
静間 健人(東日本大震災・原子力災害伝承館)
Titaya SARARIT(チェンマイ大学 建築学部)
- B2-2 災害発生後における医療・保健・福祉支援の継続に関する不安感と対策需要の認識の関連構造
. 49
長濱 光葉(関西学院大学総合政策研究科)
照本 清峰(関西学院大学建築学部)
- B2-3 気候予測情報に基づく洪水シナリオの市町村の防災訓練への適用 51
鈴木 章弘(北海道大学大学院工学研究院)
佐藤 春雄(芽室町役場総務課)

与賀田隆史（日本工営株式会社）
三戸 孝延（日本工営株式会社）
山本 太郎（一般財団法人北海道河川財団）
山田 朋人（北海道大学大学院工学研究院）

- B2-4 テキストマイニング分析を用いた BCP 対応訓練評価手法の開発 53
田中健太郎（香川大学大学院創発科学研究科）
磯打千雅子（香川大学准教授 IECMS 地域強靱化研究センター）

10月28日（土）13:40~14:50 セッション3

B3 災害支援Ⅱ（座長：磯打 千雅子）

- B3-1 水害廃棄物発生から仮置場までのプロセスにおけるボランティア協働による片付けごみ対応
. 56

高田 昭彦（富士フイルムビジネスイノベーションジャパン）
岡山 朋子（大正大学地域創生学部地域創生学科）

- B3-2 広域避難の検討と実施に向けた基礎自治体間の情報共有に関する研究 58

千葉 啓広（名古屋大学減災連携研究センター）
荒木 裕子（京都府立大学生命環境科学研究科）

- B3-3 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に記載された情報の他者への提供に係る抵抗感についての考察
. 60

山崎真梨子（九州保健福祉大学大学院）

- B3-4 災害証言記録の防災 DX に向けたマルチレイヤー化に関する考察 62

磯打千雅子（香川大学地域強靱化研究センター）
大場 晴夫（香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース）
梶田 洋規（国土交通省四国地方整備局四国技術事務所）
田中健太郎（香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻）

10月28日（土）15:05~16:15 セッション4

B4 災害支援Ⅲ（座長：大津山 堅介）

- B4-1 個人ベースの参加データをもとにした津波避難訓練の特質に関する分析 65

立山 皓基（九州大学教育学部）
杉山 高志（九州大学人間環境学研究院）

- B4-2 災害対策本部運営における防災情報システムの活用実態 67

塩津 達哉（人と防災未来センター）
越山 健治（関西大学社会安全学部）

- B4-3 災害ケア教育における事前復興曲線の特徴分析 69
 筒井 麗奈 (香川大学大学院創発科学研究科)
 竹之内健介 (香川大学准教授 創造工学部)
- B4-4 文明進化型の「宇宙天気災害」に備える ～宇宙天気防災をリードする人材の役割と育成～ 71
 斉田季実治 (ABLab 宇宙天気プロジェクト・気象キャスターネットワーク)
 森川 浩司 (ABLab 宇宙天気プロジェクト)
 菊池 義浩 (ABLab 宇宙天気プロジェクト)
 井田 寛子 (気象キャスターネットワーク)
 玉置 晋 (ABLab 宇宙天気プロジェクト)

■■ C会場 福島学院大学福島駅前キャンパス 6階E609 ■■

10月28日(土) 10:00～11:10 セッション1

C1 調査I (座長: 福島 隆史)

- C1-1 リスクコミュニケーターが持つ各種メディア発信の放射線情報に対する信頼度の違い 74
 : 防災士対象調査を通して
 齋藤 玲 (東北大学災害科学国際研究所)
 邑本 俊亮 (東北大学災害科学国際研究所)
 保田 真理 (東北大学災害科学国際研究所)
 大葉 隆 (福島県立医科大学)
 佐藤 美佳 (福島県立医科大学大学院医学研究科)
- C1-2 風水害への備えに対する人々の忘却に関する考察 76
 川嶋 龍雄 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)
 金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター)
- C1-3 VRを用いた列車内のパニック防止のための研究 78
 福井 桃子 (東京大学大学院学際情報学府)
 濱田 健夫 (東京大学大学院情報学環)
 ハウタサーリ アリ (東京大学大学院情報学環)
 関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- C1-4 多理論統合モデルを用いたローカル観測の地域への浸透状況に関する評価 80
 日野田圭祐 (香川大学大学院創発科学研究科)
 竹之内健介 (香川大学創造工学部)

10月28日(土) 11:25～12:35 セッション2

C2 地震・火山 (座長: 小室 広佐子)

- C2-1 トンガ海底火山の噴火に伴う潮位変化に対する住民の対応
 —津波警報・津波注意報が発表された地域の住民に対する質問紙調査— 83
 佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
 安本 真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
 吉本 充宏 (山梨県富士山科学研究所)
 石峯 康浩 (山梨県富士山科学研究所)
 秦 康範 (山梨大学大学院総合研究部)

C2-2 火山防災協議会における「事前に定めた計画」に基づく立入規制と阿蘇火山防災会議協議会の関係の考察
 85

富澤 周 (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)
 関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C2-3 活動火山対策特別措置法の改正点について 87

南沢 修 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
 秦 康範 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

C2-4 語り継がれる被災、語り継がれない被災 —関東大震災の被災事例から 89

小室広佐子 (東京国際大学教授 言語コミュニケーション学部)

10月28日(土) 13:40~14:50 セッション3

C3 水害I (座長: 黒田 洋司)

C3-1 熊本県における大雨警報等と被害の関係 92

桑原 暢子 (熊本県企画振興部地域・文化振興局地域振興課)
 牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

C3-2 浸水リスクを考慮した水害から命を守るに関する検討を目的とした地域実践とその効果の検証
 94

真庭 百花 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)
 金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター)

C3-3 リスク環境に応じた行政・住民間のコミュニケーション手法の検討
 ～コミュニティタイムラインの作成事例～ 96

荒木 優弥 (環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)
 加村 邦茂 (環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)
 吉崎 皇淑 (国土交通省中部地方整備局千曲川河川事務所)
 岡本 卓也 (国土交通省金沢河川国道事務所)

C3-4 豪雨災害時における避難行動の地域差: 「外部性」の認知が避難意図に及ぼす影響 98

寺澤 華織 (東京大学大学院学際情報学府)
 岩谷 舟真 (東京大学大学院人文社会系研究科)
 村本由紀子 (東京大学大学院人文社会系研究科)

10月28日(土) 15:05~16:15 セッション4

C4 防災教育I (座長: 岡田 夏美)

- C4-1 学校施設改修を活かした避難所環境の改善と学校教育・地域防災への展開・・・101
内山 琴絵 (信州大学教育学部)
廣内 大助 (信州大学学術研究院教育学系)
神田 孝文 (信州大学グリーン社会協創機構地域防災減災センター)
横山 俊一 (元信州大学教育学部)
熊谷 力也 (株式会社 LIXIL トイレ空間事業部)
杉浦 功 (株式会社 LIXIL トイレ空間事業部)
田中 格 (株式会社 LIXIL 営業本部甲信越支社)
- C4-2 歴史災害の記録を活用した防災学習教材の検討・・・103
黒澤宗一郎 (京都大学大学院情報学研究科)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- C4-3 小中学校における地震を想定した避難訓練の現状とその改善策に対する教員の評価・・・105
小倉 優志 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター)
- C4-4 防災アプリ CERD-AR の DIG に向けたカスタマイズ・・・107
大橋 海人 (山陽小野田市立山口東京理科大学大学院工学研究科)
山本 頼弥 (常葉大学経営学部)
大久保健一 (山陽小野田市立山口東京理科大学工学部)
井上 啓 (山陽小野田市立山口東京理科大学工学部)

■■D会場 コラッセふくしま4階 多目的ホール■■

10月29日(日) 10:00~11:10 セッション5

D5 南海トラフ・想定 (座長: 高原 耕平)

- D5-1 「南海トラフ地震臨時情報」はどう伝わるかーテレビ放送訓練から見えた課題を例にー・・・110
福島 隆史 (TBSテレビ報道局)
- D5-2 災害廃棄物処理に係る自治体支援のニーズと実態・・・112
高田 光康 (国立環境研究所 資源循環領域)
岡山 朋子 (大正大学 地域創生学部)
- D5-3 「津波てんでんこ」のための認識共有における親子間の会話に関する研究・・・114
岡田 夏美 (京都大学防災研究所)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- D5-4 どこまでの最悪の事態を想定すべきか: 児玉聡『予防の倫理学』(2023)を手がかりに・・・116
高原 耕平 (人と防災未来センター)

10月29日(日) 11:25~12:35 セッション6

D6 水害Ⅱ (座長: 大原 美保)

- D6-1 内水氾濫被害発生時の避難情報発令の課題～令和5年秋田豪雨の事例から～・・・119
中野 晋 (徳島大学環境防災研究センター)
蔣 景彩 (徳島大学環境防災研究センター)
金井 純子 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部)
西村 実穂 (東京未来大学こども心理学部)
徳永 雅彦 (徳島大学環境防災研究センター)
檜本 誠一 (株)一条工務店
- D6-2 スイッチデータベース「雨コミュ」の構築を通じたスイッチ事例の分析・・・121
竹之内健介 (香川大学創造工学部)
大久保圭悟 (香川大学創造工学部)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- D6-3 風水害時の「共助死」について(序報)・・・123
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
- D6-4 広域水害時の迅速な被害状況把握に向けた Google Earth Engine の活用・・・125
ーフィリピン共和国での活用事例ー
大原 美保 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター (前・国立研究開発法人 土木研究所))
会田健太郎 (国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)
南雲 直子 (国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)
Vicente G. Ballaran, Jr.
(政策研究大学院大学/国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)

■■E会場 コラッセふくしま4階 中会議室■■

10月29日(日) 10:00~11:10 セッション5

E5 調査Ⅱ (座長: 秦 康範)

- E5-1 洪水関連情報の社会的価値とバイアスの低減・・・128
田中 勝也 (滋賀大学経済学部/環境総合研究センター)
赤石 一英 (横浜地方気象台)
横田 崇 (愛知工業大学工学部)
- E5-2 自然災害リスクは住民に正しく認識されているか?・・・130
有馬 昌宏 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
川向 肇 (兵庫県立大学社会情報科学部)
- E5-3 平成30年西日本豪雨災害後の定期避難意識調査の概要・・・132
秋山 克美 (放送大学教養学部)
藤本 健二 (株式会社サーベイリサーチセンター)

江戸 克栄 (県立広島大学大学院 経営管理研究科)

- E5-4 土砂災害ハザードマップの判読に関する基礎的調査・・・134
秦 康範 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
佐藤 史弥 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

10月29日(日) 11:25~12:35 セッション6

E6 メディア、コミュニケーション (座長: 廣井 悠)

- E6-1 災害特別番組で使用される津波避難キャスターコメントに関する考察・・・137
—和歌山県内における地域比較から—
福本 晋悟 (毎日放送報道情報局報道センター (人と防災未来センター 特別研究調査員))
- E6-2 水害時の「アナウンサーの呼びかけ」口調に関する考察・・・139
～「水害からの避難」に関するWEBモニター アンケートより～
中山準之助 (日本放送協会 放送文化研究所 世論調査部 社会調査班 (研究員))
- E6-3 原子力災害被災地における住民コミュニケーションの実態と地域再生の課題
—双葉郡葛尾村における全戸訪問悉皆調査を通して— (第2報)・・・141
服部 正幸 (福島大学)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
小山 良太 (福島大学食農学類)
- E6-4 スポーツからアプローチする防災啓発の一形態・・・143
: ヤフー防災模試を活用した各スポーツリーグとの事例研究
安田 健志 (ヤフー株式会社)
津村 翔士 (株式会社 HITOTOWA)
佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

■■F会場 コラッセふくしま5階 研修室■■

10月29日(日) 10:00~11:10 セッション5

F5 災害支援Ⅳ (座長: 本間 基寛)

- F5-1 災害医療体制に関するコミュニケーションの現状と課題・・・146
石橋 真帆 (東京大学大学院学際情報学府博士課程)
三羽恵梨子 (東京大学大学院医学系研究科)
坂井 愛理 (東京大学大学院人文社会系研究科)
島田 裕平 (東京大学大学院法学政治学研究科)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
富尾 淳 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

F5-2	災害時の応援活動における即興的な組織行動と制度化	148
	黒田 洋司 (消防防災科学センター)	
F5-3	With コロナにおける地域と大学の連携・移動制限を見据えて如何に平時からの関係を築くか	150
	佐々木俊介 (早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター)	
	村瀬 美空 (早稲田大学法学部)	
	小宮山愛実 (早稲田大学教育学部)	
	奥田 遥 (早稲田大学災害ボランティア研究会)	
	津留 愛美 (東九州龍谷高等学校)	
	熊谷 直輔 (大分県中津市万田自治会)	
F5-4	都道府県別の水害時要避難者数の試算	152
	本間 基寛 (一般財団法人日本気象協会)	
	牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)	

10月29日(日) 11:25~12:35 セッション6

F6 防災教育Ⅱ (座長: 中野 元太)

F6-1	防災における魅惑モデルと持続可能モデルを軸としたコミュニケーション・デザインに関する考察	155
	小島 彰吾 (株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所)	
F6-2	地震防災における感情的アプローチの可能性	
	—ドラマ「パラレル東京」による認知の変化についての追加分析—	157
	安本 真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)	
	葛西 優香 (東京大学大学院学際情報学府)	
	富澤 周 (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)	
	内田 充紀 (東京大学大学院学際情報学府)	
	関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)	
F6-3	訓練行動データを用いた津波避難戦略ツールの開発と検証	159
	杉山 高志 (九州大学人間環境学研究院)	
	矢守 克也 (京都大学防災研究所)	
	ト部 兼慎 ((株) GK 京都)	
	西野 隆博 ((有) R2 メディア・ソリューション)	
	中村 洋光 (防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門)	
	土肥 裕史 (防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門)	
	前田 宜浩 (防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門)	
F6-4	三者関係のダイナミズムから見る防災実践	161
	中野 元太 (京都大学防災研究所)	